

QC活動推進委員会の現状と未来

藤原 富夫

キーワード：自主サークル活動；経営改革；職員の意識改革

(雲南市立病院医学雑誌 2019; 16(1): 143-144)

はじめに

Quality control（以下、QC）活動の導入の経緯は、平成22年3月の運営審議会で、QCサークル活動導入方針が決定し、同年4月の松井譲院長（当時）の所信表明で職員に向け示された。全国的に自治体立病院の経営状態が悪化し、閉鎖を余儀なくされる医療機関や、規模の縮小、運営形態の見直しなどを迫られるようになり医療経営雑誌「明日の病院経営を考える」に、益田医師会病院のQCサークル活動が紹介され、その中で「倒産寸前だった病院にQCサークル活動を通じて経営改革や職員の意識改革を図り、病院を再建し現在黒字経営を続けている」という記事がきっかけとなり、導入に向けて動き出すこととなった。

活動概要

導入の目的は、QC活動を通じて病院に勤務するすべての職員が経営に参画し、病院経営の健全化と職員の意識改革を図ると共に、患者中心の医療福祉を考え、患者の満足と信頼をつくりだせるような病院を目指すことであった。活動に向けて管理職を中心とした推進委員会を主に支援、標準化、教育と3つのグループで

組織し、活動サークルへの助言・指導を行う事務局をその中に設置し、体制を整え活動を開始した。

今後に向けて

初年度の活動サークルは、各部署単位で23サークルであったが、現在は16サークルと活動サークルは減ってきている。こ平成30年に新本館棟が完成して1年になり、施設面は改善され、運用についても順調に進みつつあるが、改善すべき事や医療の質の向上は常に無くなることはないと考える。手法を用いて、これからも良質な医療の提供と患者サービスの向上に向け活動を行っていく予定である。

これまでの経緯

これまでの優秀賞を受賞した各サークル名とテーマは表1のとおりであり、委員会構成員は、病院事業管理者、病院長、看護部長、事務部長、以下、看護部各部署師長、医療技術部医療技術部リハビリテーション技術科長、検査技術科長、放射線技術科長、訪問事業課長、薬剤科長、事務部総務課長、栄養管理科長、健康管理センター地域連携室長、保健推進課長から成る。

QC 推進委員会

表1 歴代QC優秀賞受賞サークルとテーマ

第1回大会（平成23年3月）	おちらとやらこい（検査科技術科） 「心電図室前待ち合いの混雑解消法」
第2回大会（平成24年3月）	新鮮組（栄養管理科） 固形化補助食品、トロミ調整食品の使用量の「茶トロミ・茶ゼリーの適正量の握」
第3回大会（平成25年3月）	オ・ト・チ トライアングル（手術室・透析室・中央材料室） 「患者が安心、安全に手術を受けられるために」
第4回大会（平成26年3月）	ポップコーン（保健推進課） オプション検査利用を増やそう「もっと皆の健康のために進めたい」
第5回大会（平成27年3月）	おちらとやらこい（検査技術科） 「血液検査業務の煩雑さを何とかしたい」まずは分類標本作成について見直そう
第6回大会（平成28年3月）	かめさん（リハビリテーション技術科） 「リハ計画書を説明し、脳血管リハビリの未算定率をさげよう」
第7回大会（平成29年3月）	おちらとやらこい（検査技術科） 「検体検査でのオーダー見落としが原因の未報告検査の撲滅」
第8回大会（平成31年3月）	ひまわり（外来看護科） 「迷わず検査場所に行けるようにしよう」～もう迷わない～

※平成29年度は、新本館棟オープンのため、QC活動を休止した。

Present status and future perspective of the committee for quality control (QC) circle activity promotion in Unnan City Hospital.

Tomio Fujihara

Committee for quality control (QC) circle activity promotion, Division of general affairs, Unnan City Hospital
Correspondence: Tomio Fujihara, Division of general affairs, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp